

シンポジウム

“情報”の力で備える 感染症危機

～見えないリスクを捉え、
わかりやすく伝えるために～

参加費
無料

事前申込みが
必要です

本シンポジウムでは、感染症の早期発見と情報の収集・分析により迅速なリスク判断を行う「感染症インテリジェンスの構築」と、そのリスク情報と見方の共有を目指す活動である「リスクコミュニケーション」という2つのテーマを軸に、政府や専門家の取組を紹介しながら、感染症リテラシーを高めるための議論を行います。

「情報の力」がどのように私たちを感染症から守っているのか。
その理解を深める場に、ぜひご参加ください。

2026年2月9日(月)14:00~16:00

オンライン参加 (YouTube Live)

参 加 費 | 無料 事前申込みが必要です。申込み方法は裏面をご覧ください。
申込み期間 | 2026年1月7日(水)～2026年2月6日(金)

主催



内閣感染症
危機管理統括庁

“情報”の力で備える感染症危機

～見えないリスクを捉え、わかりやすく伝えるために～

● 14:00 主催者挨拶



城内 実 / 感染症危機管理担当大臣

● 14:05 主催者説明

「内閣感染症危機管理統括庁の取組とJIHSへの期待」

眞鍋 馨 / 内閣官房 内閣感染症危機管理統括庁 内閣審議官

● 14:15 基調講演

「感染症インテリジェンスのハブとしてのJIHSの役割」

～JIHS設立から11か月の取組状況～



國土 典宏 / 国立健康危機管理研究機構(JIHS)理事長

1981年東京大学医学部卒業、同第二外科、米国ミシガン大学外科留学を経て1995年癌研附属病院外科。2001年より東京大学肝胆脾外科助教授、2007年に教授に昇任し、2017年国立研究開発法人国立国際医療研究センター理事長。2025年国立感染症研究所と組織統合し新機構の理事長に就任。日本外科学会理事長、世界肝胆脾学会(IHPBA)会長、日本医学会連合理事を歴任。内閣府健康・医療戦略参与、同全世代型社会保障構築会議構成員、医道審議会医師分科会長、東京大学名誉教授・経営協議会委員。

● 14:30 休憩

● 14:40 パネルディスカッション



モデレーター 福田 充 / 日本大学危機管理学部 学部長・教授

1969年、兵庫県西宮市生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士(政治学)。専門は危機管理学、リスクコミュニケーション、テロ対策、インテリジェンスなど。内閣官房等で防災、テロ対策、国民保護に関する委員、内閣官房新型インフルエンザ等対策有識者会議委員などを歴任。著書に『リスクコミュニケーション～多様化する危機を乗り越える』(平凡社新書)、『新版・メディアとテロリズム』(新潮新書)、『政治と暴力～安倍晋三銃撃事件とテロリズム』(PHP新書)など多数。

パネリスト



斎藤 智也

国立健康危機管理研究機構
国立感染症研究所
感染症危機管理研究センター長



奈良 由美子

放送大学教養学部
教授



三崎 貴子

川崎市健康安全研究所
所長



町田 優代

内閣官房
内閣感染症危機管理統括庁
内閣審議官



眞鍋 馨

内閣官房
内閣感染症危機管理統括庁
内閣審議官



鶴見 学

厚生労働省
健康・生活衛生局
感染症対策部長

● 16:00 閉会

申込みフォーム

参加をご希望の方は下記URLまたはQRコードの申込みフォームからお申込みください。

申込みフォーム：<http://secure-cloud.jp/sf/business/1766018794vVYPPUPd>

申込み期間

2026年1月7日(水)～2026年2月6日(金)

